



2021年11月30日

No. 75

公益社団法人  
小山町シルバー  
人材センター

〒410-1326  
静岡県駿東郡小山町  
用沢345-1  
小山町シルバーワークプラザ内  
TEL (0550) 78-0011  
FAX (0550) 78-0868

# 拓やま

～生きがいを求め、地域に奉仕～

## 霜 秋



アサギマダラ

2021.08.26 09:49

富士山須走口五合目で「タイアザミ」や「フジアザミ」の花の蜜を求めて舞う「アサギマダラ」を8月26日に写しました。アサギマダラは羽を広げた大きさが10cmほど。春に北上し、秋から南下を始め暖かい南方で越冬する習性があります。  
(岩田隆雄氏 撮影)

## 目次

- 2 事務局だより
- 2 事業報告
- 2 行事予定
- 3 会員募集
- 4 オリピック・パラリンピック  
写真集
- 5 地域班奉仕活動及び地域班会議
- 5 安全・適正就業強化
- 6 ハイキング部活動報告・募集
- 6 傷害保険及び賠償責任保険について
- 7 俳句・短歌
- 7 新会員の紹介
- 7 事務局に寄せられた感想文
- 8 特集 正月飾りの紹介
- 8 編集後記

# 事務局だより

秋の気配が日増しに深まる今日この頃、会員の皆様におかれましては、増々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

日頃より、当センター事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和三年度上期の事業実績も、前年対比にて一桁台のマイナス四・八%となっております。これも偏に会員皆様のご尽力の賜物と思っております。

しかしながら厳しい現状である事には変わりありません。これからも就業拡大・新規開拓等に、皆様のより一層のご協力の程宜しくお願い致します。

次に会員数ですが、令和三年九月末現在、前年同月時より二十四名減の百五十六名となっております。今後とも会員増に向けて、皆様共々と邁進していきたいと考えております。

昨年度は実施致しませんでした富士山須走口五合目管理業務は、本年度は実施し収益に貢献致しております。更に派遣

事業においても、四事業所に三十名弱の会員の皆様が日々就業に勤しんでおります。

派遣事業は今後一層進めていこうと思っております。こちらの方も会員皆様のご協力の程お願い致します。

本年度は、昨年度同様新型コロナウイルスの影響により、諸行事が中止になりましたが、各支部奉仕活動に於いては、三支部(成美・足柄・須走)にて三十九名の会員の皆様に、ご参加をして頂きました。ありがとうございました。

これからの行事予定ですが、明年一月に安全講習会・祈願が計画されております。皆様のご理解ご参加の程宜しくお願い致します。

これから清々しい季節の反面、朝夕の冷え込みが益々厳しくなっております。会員の皆様には、ご自愛の程宜しくお願い致します。

## 事業報告

- 7月
- 7月
- 7月
- 7月
- 8月
- 8月
- 9月
- 10月
- 10月

## 行事予定

- 12月
- 1月
- 1月
- 2月
- 2月
- 3月



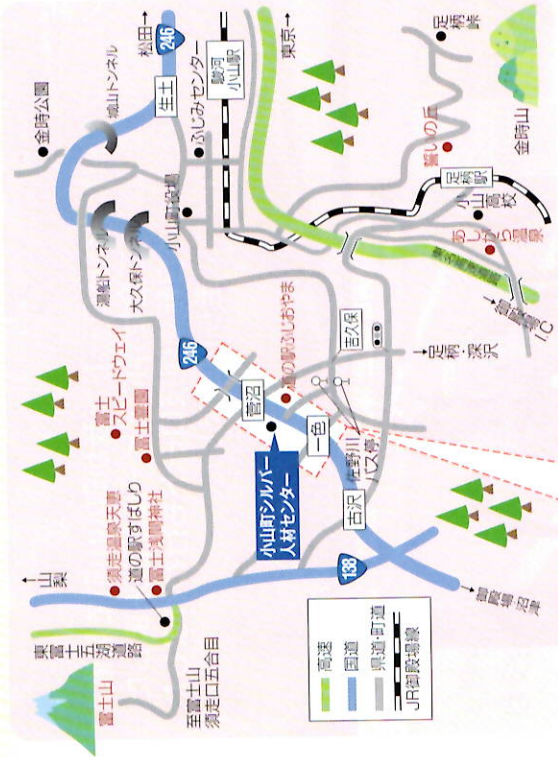
小山町シルバー人材センター

# 会員 募集中

60歳以上の  
健康で働く意欲のある方なら、  
どなたでも入会できます。

## あなたの生きがい、 きつとここにあります。

シルバー人材センターには、「健康のため」「社会参加のため」「収入のため」…長年培ったあなたの経験を活かせる場所がきつとあります！地域社会を担うチカラをお待ちしております。





# オリンピック・パラリンピック

## 写真集

7月24・25日、28日にオリンピックの自転車競技ロードが我が町小山町で開催されました。自転車の上野・中日向・榎頭区を通過して全世界にアピールができました。そして、8月31日～9月3日にパラリンピックの自転車競技ロードも行われました。はじめて見るめずらしい自転車で男女がべつべつに走り抜けました。

2021/09/03



# 地域班奉仕活動及び地域班会議

各地区のそれぞれの施設で植木の手入れ、除草作業を行いました。  
また、作業終了後、地域班会議を行い、会員相互の親睦を図りました。

足柄 9/4



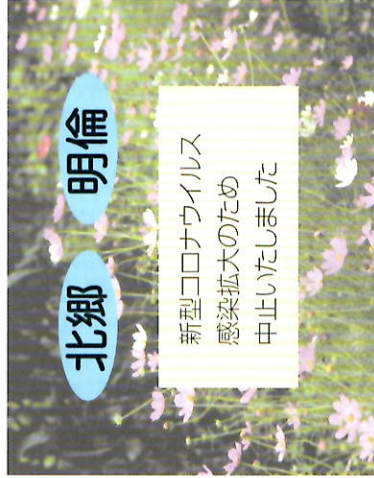
足柄地区コミュニケーションセンターの草取り及び剪定作業

須走 9/4



須走富士浅間神社・鎌倉往還道の草刈りと清掃作業

北郷 明倫 9/4



成美 9/4



ふじみセンター周辺の除草、植木の手入れ

## 安全・適正就業強化

今年は6月から7月の長雨、8月の猛暑と異常気象が続く中、会員の皆様は安全、健康を第一に心がけて、作業・業務に専念されていると思います。

7月27日に、第1回

安全委員会を開催





山梨県富士山世界遺産センター

活動報告



河口湖大池公園で昼食



母の白滝



河口湖浅間神社

十月二十三日、コロナ対策を万全にして活動を実施しました。「新屋山神社」は、金運守で知る人ぞ知る神社で「北口本宮 富士浅間神社」の東側にあります。次に、「山梨県立富士山世界遺産センター」で富士山を学びました。今、富士山ハザードマップ、富士山の低周波地震の活発化が報道されています。噴火したら大変だと実感しました。快晴の「河口湖大池公園」で昼食後、富士山構成資産の一つ「河口浅間神社」に行きました。この神社は、天然記念物の七本杉（根廻り最大三メートル、樹高四十七メートル）をはじめ、百本余の大木が有り、全国的にも珍しいそうです。登山者が身被を行った「母の白滝」は、富士山の見晴らしが良いので途中にキャンプ場が段々に作られていました。身近な富士山、まだ知らない所があると実感しました。身近な富士山、まだ知らない所の土産は、二軒の果物野菜市場に寄って来ました。

募集!

毘沙門天初詣と  
富士山かくや姫  
ミュージアム

（かくや姫は月でなく  
富士山に帰ったと伝わる）

日時 令和四年  
一月二十九日(土)

役場 八時四十五分

シルバー事務所 九時

参加費 三千元

持ち物 昼食、飲物、

雨具、マスク

申込み 一月二十日(木)

までにシルバー事務局へ

行程 初詣の後、

岩本山往復ハイイク予定

雨天決行

部員以外の方の参加も  
お待ちしております。

傷害保険及び

賠償責任保険について

業務に従事している会員が業務中に事故により被った傷害に対して保障されている金額は次の通りです。

傷害保険

死亡・後遺障害	五〇〇万円
入院日額	三、〇〇〇円
通院日額	二、〇〇〇円

賠償責任保険

対人一名	三、〇〇〇万円
対人一事故	一億円(免責一億円)
対物一事故	一億円(免責一億円)

一万円は個人負担です

この保険は、全ての事故に適用されるものではありません。シルバーは自己責任が基本です。保険適用がなされないときは、免責一万円以外に負担していただくこともあります。事務局が休みの日の作業は極力避けるとともに、事務局を通さない相手先との示談はしないでください。



# 俳句

小山 米重 初枝

手をふって 別れる子らや 秋の暮れ  
夕日うけ 燃え上がらんと 大紅葉  
富士の山 ぐんと背伸びを 秋快晴



# 短歌

下小林 大矢 幸子

あゝ虹をくぐりて見たき霧雨の  
少し明るき午後山の裾

丁寧にひと日一日を紡ぎゆかむ  
九十六歳のひかりの中に

## 新会員の紹介

～元気でガンバリます～  
よろしく

氏名 地区  
都倉まゆみ 明倫

会員数 156名  
男 88名、女 68名  
(内7名はゴールド会員)  
10月31日現在

事務局に寄せられた感想を  
掲載させていただきます。

この度発行のシルバール七十四号、  
拝読いたしました。大矢幸子さんの  
特別寄稿は涙があふれました。戦争  
を知らない私たち世代(私は三十代  
前半です)は、教科書に掲載されて  
いた纏足の話や中国から帰国するの  
が非常に難しかった事は何となくで  
すが知っていました。当時の情景  
が浮かんでくる大矢さんの文章に大  
変心が揺さぶられました。

読んでいる私が心苦しくなったの  
で、さぞ、お書きになった大矢さん  
におかれましては、苦しい時間で  
あったと想像しております。

最後に「戦争を知らない人たちに、  
非戦の思いを込めて」とありまし  
た。この寄稿が多くの方の目に留ま  
ることを願っています。

私自身としては、子どもが大きくな  
ったからこの事を伝えようと思いま  
す。

### 特別寄稿

### 戦争を生き抜いて

小山町下小林  
大矢 幸子



昭和十六年(一九四一年)四月、私は就  
職のために中国に渡った。十七歳の春である  
生家の熊本を出て下関港から乗船、玄  
界灘の荒波は重宝とれぬままに一夜を  
過ごし、朝鮮青島に着いた。  
街では纏足、昔、中国で、女性の足に子  
供の時から布を巻き付け、大きくしな  
いようにした風習をした女性があちこち  
で見られ、よちよちと子供の様な歩きを  
していた。道路の両側には、丸めて平らにし  
た人糞が干してあり、悪臭を放っていた。  
燃料にするのだと運ばれた炭が説明して  
くれた。  
北支那に鉄道敷設する鉄路局に入社し  
て四年、現地は海と穏やかな毎日だったが、  
太平洋戦争が激しくなると、鉄路上職  
が懲罰され間もなく終戦、中国人の態度は  
一変し恐怖と不安の中で勤務が毎日続  
いた。沿線に動いていた私は、列車  
の不運で帰ることができず、不安の毎日  
だったが、日頃働いて見ていた現地の中国  
人が親切に話をしてくれて、人の情けが

して人々の持ち物が次々と消えていく。現  
地の人までトラックに飛び乗って来ては、  
みんなの持ち物を奪っていき、病人が掛け  
ている布団の綿を取り出して盗んでいった。  
寒い連日寒いパン一個の日もあつた。  
病院の父がいたので心休まる日はなかつ  
た。  
ある人は、引き揚げの途中に亡くなった  
お母さんを仕方なく野中に埋葬され、翌日  
その場所を通ると何匹もの犬が集まってい  
るのが見えたが、どうする術もなく、ただ  
果敢と黙って通り過ぎた。  
また、ある若い母親は、途中で息絶えた  
乳児を背負って歩き続けた。  
青島に着いた三月末、私たちは米倉庫を  
掃除して、寄せ集めた配給りのお米をむ  
すびを作りみんなに配った。午後で頭  
に汗、生きて帰れたと思った。後で頭  
から薬「DTP」シラミなどを駆除  
する強力な殺虫剤で現在使用禁止を懸

けられたあげく帰郷する列車は異常に遅  
し、通路も連結部分も溢れていた。  
義母の実家へ身を寄せたのが丁度のお  
節前、丁度のお節前でお金が足りなかつた。  
して夫の親、義父の知人の借金を借り  
て帰国後の一家の生活が始まった。義父母  
は知人の家を尋ねて食料を分けてもら  
った。農家で暮らすも不足していた時代で思  
うようにはならず、千円はたまに消え  
ていった。私は毎日野の草を探って粥に炊  
いたが、粥の粥の中に茶葉は見えるほど  
だった。  
昔であつた少しばかりの田畑を返して  
もらい、まず早く食べられる物から作るこ  
とに、初めての仕事で何れも何れも近所の  
人に教えてもらいながら毎日、私は、私  
は親戚の家で百姓の息遣いに通つたが、力  
ばかりでは思ふようにはできず、汗が目に  
かたつた。  
まさかと陰で噂されたが農家の仕事を  
覚え、生計の足しに田植への出稼ぎ、水車  
を借りて米を打ち、籠織りや後存り、水車  
代りとした。それらは子供の正月の暗れ着に  
代わつていく。  
病弱だった義父が亡くなり、子供が学校  
に通う頃には戦後大きく変わり、世の中  
も安定して私もこの地に根付いていく。  
戦争を知らない人たちに、言葉の思いを  
込めて綴りました。



お正月をシルバー会員手作りのお飾りで迎えませんか？  
**大特集**



**お飾り作り・販売**



小山町シルバー人材センターでは、お正月用のお飾りを作製するために、稲の種まきから始めます。普通米・古代米の2種類の苗作りをし、収穫までには多くの工程を経て、稲穂からお飾りの完成品が出来るまでおおよそ10ヶ月近くの日数が必要です。

すべて混り気のない稲藁から、会員が心をこめて作成した製品です。お飾りの見本は、シルバー人材センターに展示しています。

予約を受け付けています。申込み締め切り日は**12月10日(金)**となっております。引き渡しは12月13日(月)以降17日(金)までです。

詳しいことは、事務局(☎78-0011)へお問い合わせ下さい。



品名		金額(円)	品名		金額(円)
玄関飾り	黒穂(神代米)	2,500	神棚飾り (こぼしめ)	6尺	3,600
	赤穂	2,500		5尺	3,100
	黄金	2,500		4尺	2,100
	穂なし	2,500		3尺	1,500
輪飾り(1セット5本)		350	縄(M:当り)		200
リース		1,600			

**編集後記**

コロナ禍も収束に向かい、少しずつですが、広報も盛り上げていきたいと思えます。三ページの地図で小山町シルバー人材センターを再度案内させていただきました。皆様の入会をお待ちしています。段々寒くなってきましたので、お体にお気をつけてください。

**編集委員**

- 小島 常譽 池谷 廣美
- 大矢 麻津子 坂本 正子
- 岩澤 英子

